

1 保育所の整備

保育所の施設整備については、新エンゼルプランに基づく多機能保育所等の整備に加え、待機児童ゼロ作戦に基づき、待機児童解消を目指した受入れ児童数の増大を図るための保育所の緊急整備を引き続き行っていく。

「待機児童ゼロ作戦」においては、平成14（2003）年度から平成16（2004）年度までに計15万人の受入れ児童数の増大を図ることとされており、引き続き、待機児童解消のための保育所の創設、増築や低年齢児の受入れ拡大のための乳児室等の整備や余裕教室等を活用した改築整備の促進、保育所分園の整備の促進を図っていく。

また、新エンゼルプランを踏まえて老朽化している保育所の改築に併せて、地域における子育て支援のための子育て支援相談室等の整備、一時保育事業のための保育室等の整備など地域の実情に応じつつ創意工夫を重ねて、積極的かつ効果的な整備を引き続き推進していく。

平成16（2004）年度の保育所の施設整備費としては、平成15（2003）年度税制改正に関連した少子化対策の一環として待機児童の多い市町村を中心に緊急整備を行うための経費を計上したところである。

2 保育所への優先入所

保育所への入所については、平成15（2003）年3月に「保育所の入所等の選考の際における母子家庭等の取扱いについて」を通知し、母子家庭等の児童を保育所入所の必要性が高いものとして優先的に取り扱うことについて特別の配慮を求めたところであり、引き続き周知を図っていく。

3 延長保育

11時間の開所時間の前後の時間において、さらにおおむね30分以上の延長保育を実施する延長保育事業については、新エンゼルプランに基づき推進を図っている。

平成16（2004）年度予算においては、対前年度で1,600か所増の13,100か所分、318億円の予算を計上し、引き続き推進を図っていく。

4 夜間保育

夜間の保育需要への対応を図るため、開所時間がおおむね午前11時から午後10時である保育所に対して、定員によって定まる保育単価に夜間保育所用加算分保育単価を加算している。

また、保育所地域活動事業において夜間保育所として必要となる経費（1か所当たり年額150万円）を補助する夜間保育推進事業については、平成16（2004）年度予算において対前年度同の60か所分、3千万円の予算を計上した。

5 乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）

子育てと就労の両立を支援するため、病気の回復期にある子どもを保育所や医療機関などに付設された施設で一時的に預かる乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育）を実施している。

この事業については、新エンゼルプランにおいて、平成16（2004）年度までに500市町村で実施することを目標としており、平成16（2004）年度予算においては、500市町村で実施するための予算を確保するほか、地方公共団体の取組みを促進するため国庫補助率を3分の1から2分の1に引き上げることとした。

6 放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）については、新エンゼルプラン及び「仕事と子育ての両立支援策の方針について」（平成13年7月閣議決定）に基づき、平成16（2004）年度予算においては、対前年度800か所増の12,400か所分、87億円の予算を計上し、引き続き推進を図っていくこととしている。

なお、放課後児童クラブにおける母子家庭等の優先的利用については、平成15（2003）年3月に「保育所の入所等の選考の際における母子家庭等の取扱いについて」の通知において、保護者の就業や求職活動、職業訓練などを行うことができるよう、各放課後児童クラブにおいて優先的に利用できるよう配慮を求めたところであり、引き続き周知を図っていく。